

<2010年 >

歴史的分岐—2010年の幕開け

- 1・1 日本人口減（厚労省推計）—09年の推計出生数106万9000人、死亡数144万4000人—05年に死亡数が出生数を上回る、06年8224人の微増、07年1万8516人減—09年員7万5000人減／死因—ガン34万4000人、心疾患約17万9000人、脳血管疾患約12万1000人—離婚件数25万3000人組み（対前年2000組増）、婚姻件数71万4000組（同1万2000組減）／21世紀成年縦断調査—20～30代男性対象に過去5年間で結婚した割合—正規社員24.0%、非正規社員12.1%（1・1N）
- 1・1 各紙社説
- A 「激動世界の中で一より大きな日米の物語を」
 - M 「2010年再建の年—発信力で未来に希望を」
 - Y 「『ニッポン漂流』を回避しよう—今ある危機を乗り越えて」
 - N 「未来への責任①—繁栄と平和と地球環境を子や孫にも」
 - H 「21世紀激動の10年目—政党のあり方が試されている」
- 1・1 A 「どうなる？鳩山政権、2010年大予想—献金疑惑国会大荒れ—米に『辺野古はNO』—内閣にトロイカ結集—消費税・自衛隊で賭け—怒る社民連立離脱か—持論の改憲へ第一歩／M 「ガバナンス・国を語る、第1部政と官—消えた急進改革人事、財務省と組んでの『脱官僚』選択」 「国家戦略室不発、財務省と『不戦協定』—急進路線、仙谷氏なお模索」／Y 「小沢氏から現金億円」土地代の相続税—石川議員供述, 翌05年も4億」『小沢氏秘書に5000万円』水谷建設側、04年10月—直後、陸山会口座へ—石川議員、聴取で否定」
- 1・1 鳩山首相、年頭所感—「新しい政権の、新しい挑戦は、確かに皆様を不安にさせるかもしれません。ハネムーンの期間は過ぎました。温かい目で見てくださいとは、申し上げます」（1・1A）

- 1・2 鳩山首相退陣論—公明・山口那津男代表（都内街頭演説）、政治資金問題で鳩山首相の「説明責任は尽くされていない。お辞めなさいと申し上げたい」（1・3A）
- 1・3Y 「国会大荒れ必至—与野党対決、『政治とカネ』が影」
- 1・1 小沢幹事長「参院選で60議席」（「日刊ゲンダイ」インタビュー）
- 「目標は民主党の単独過半数獲得。そのためには60議席以上取らなければなりません」「通常国会では冒頭に国会法など改正案を通したいと思います。官僚の答弁がなくなり、国会審議は様変わりします」（1・1A）
- ⇒1・1 恒例の新年会に166人—小沢幹事長、自宅での新年会で「ここ1番と言うときに自分たちの力で政策を決定し、国会を通過させる力を持つことが非常に大事だ」（1・1A）
- 1・3Y 「小沢邸、絶頂の新年会—国会議員166人『初詣で』」